



## 農村の人づくり ～異文化の間での挑戦～

三浦 照男  
継続教育学部学部長・アーシャ理事

「何故、日本人がインドの農村のために働くのか？日本の農村でもたくさんの深刻な問題がある。インドはインドの人たちに任せておけばよいのではないか？」このような疑問を日本の方々から投げかけられます。加えて「インドにはすべてがある。無いのは金だけだ」と豪語してはばからないインド人エリートがたくさんいます。それは深遠な歴史に裏打ちされたインド文化への誇りと自負があるからこそでしょうが、よく考えるとその自負の中に矛盾点を垣間見ることができるのです。

貧困もインドの文化だ、と言ってしまえばそれはそのとおりかもしれません。カースト制（生まれる前から身分が定められている制度）は農村の倫理感、伝統的価値観を伴って何千年もの間、頑なに守られてきたものです。私たちの村落調査でも、不可触民や低位カーストの村民の多くが土地無しで、単純労働者、農業労働者として貧困生活を当たり前のよう強いられてきた人々です。私たちの活動地域の調査ではアラハバード農村の約6割以上の住民がそのような境遇の中にいました。

一方、近代社会に移行しつつある都会では不可触民出身者でも経済的な力を楳に中流社会への仲間入りが始まっています。また逆もしかりです。このように変遷しつつある近代インド社会でも、農村の変化は非常に緩慢なのです。私がインドに赴任した10年前、セミナーをやっても、中年以上の農村男子しか来ない現状に驚いた私は、インドの農村女性の研修等の参加を強化しようと

訴えました。「三浦はインドのことは何も知らない。インドの女性が宿泊研修なんかに参加する筈がない。親や夫が許すわけがない」このように私の考えを退けたのは上位カーストの同僚スタッフでした。

しかし、やらないで歯ざしりしているより、やってみて、だめだったら後悔した方がマシと考え、以下のような方策を考えました。

継続教育学部活動のスローガンに『より女性の参加を』を加えて、村で集会をする時はなるべく女性を前列に座らせること、養鶏セミナー等を開催する時は参加費用を無料にする等して女性の参加を優先させること、10か月コースの学生の半数は女子を入学させることに最大限努力すること、学部も約半数は女子スタッフ（当初はインド人女性スタッフ1名のみ）を起用すること等を全スタッフが一致団結して努力するよう提案し、それを行いました。農村の人づくりの挑戦です。

現在、私たちと一緒に活動しているアラハバードの農村女性はたくさんいます。農民学校・裁縫クラスの先生、農村保健ボランティア及びアシスタント、アーシャ学校先生、組合食品加工部担当女性らです。数年前までは継続教育学部の専門スタッフがいなければ彼女たちは何もやれないと、インド人スタッフが考えてきた女性たちです。今では専門スタッフがいなくても彼女たちだけで立派に活動を続けられています。

このような大きな変化はどうして起こったのでしょうか。一つの答えは、アラハバードに於いて、日本とインドという異文化を持った者同士がぶつかり合い、学び合いながら努力してきた成果ではないかと思うのです。異文化同士だからこそ活力のあるエネルギーが生じることがあるのです。この努力と人づくりの挑戦はこれからも続きます。



## アーシャ事務局よりお知らせ

### 事務局 丹羽寿美 アーユスNGO賞新人賞 受賞!

昨年11月5日、事務局 丹羽が「アーユスNGO賞新人賞」を受賞しました。この賞は国際協力NGOでの活動経験が短いながらも、今後さらなる活躍が期待される個人に授与されるもので、特定非営利活動法人アーユス仏教国際協力ネットワーク\*の創立20周年を機に創立されました。「名誉ある賞をいただき、とても光栄です。この受賞を励みに、これからも当会の発展に尽力してまいります。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします(丹羽)」

\*アーユス仏教国際協力ネットワーク：宗派を超えて仏教僧侶が集まり、仏教の精神に基づいて、1993年に設立された国際協力NGO。当会を支援して下さる団体賛助会員の一人でもあります。



### 年末・クリスマス募金の御礼

会報39号でお知らせした年末・クリスマス募金に、多くの方々よりご支援をいただきました。

誠にありがとうございました。ご寄付総額は**¥255,000**となりました。このご寄付は、子供たちへの奨学金、制服製作代、農村女性たちに配布するミシン代として有効に活用させていただきます。多くの皆様のご協力に、心より感謝いたします。



### 2014年度 定時総会のお知らせ

定時総会の日程が決定いたしました。当日はアラノバードで活躍するスタッフも出席予定です。現地的心声を直接聞ける貴重な機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：**2014年5月31日(土)** 13:00-17:00(予定)

場所：栃木県那須塩原市南郷屋5丁目163番地

那須塩原市 健康長寿センター ボランティアルーム

総会議題：2013年度事業報告・決算報告

2014年度事業計画・予算書の承認など

★正会員の皆様には後日ご案内をお送りいたします★

### 計 報

去る2014年2月15日 牧野理事長の奥様 牧野由紀子さんがご逝去されました。

由紀子さんは1975年アラバード農業大学(現在のサムヒギンボトム農工科学大学) 継続教育学部の立ち上げ時より、学部長であった牧野一穂理事長を支え、そして共にインドの貧しい人々に光と希望を与える活動を続けてこられました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

### ●会費・寄付納入者名簿● 2013.11.16-2014.2.28 ○は新入会員。順不問・敬称略

正会員・賛助会員の皆様、ご寄付をお送りいただきました皆様のご支援により、アーシャの活動が支えられています。皆様には心より感謝申し上げます。誤字・記載もれがありましたらご面倒でも事務局までお知らせください。

※個人情報の為、公開は控えさせていただきます。  
実際の会報には記載しております。

- 会費 個人正会員 5,000円 団体正会員 20,000円 終身個人正会員 50,000円 (正会員は総会議決権があります)  
個人賛助会員 3,000円 団体賛助会員 10,000円 終身個人賛助会員 30,000円
- 郵便振替 加入者名：アーシャ=アジアの農民と歩む会 口座番号：00160-0-315147

### 特定非営利活動法人 アーシャ=アジアの農民と歩む会

<事務局・交流センター> 〒329-2705 栃木県那須塩原市南郷屋4-28-4 B202 TEL/FAX : 0287-47-7840

事務局 丹羽 寿美 君嶋 みのり E-MAIL : info.jp@ashaasia.org

アーシャ=アジアの農民と歩む会ホームページ : <http://www.ashaasia.org> Facebook、twitterも随時更新中!